文法への扉3 一字違いで大違い（付属語）(2)

助動詞

付属語のうち、活用があるものを**助動詞**という。助動詞は用言、体言や他の助動詞などに付いて、さまざまな意味を付け加える。

●れる・られる

・**受け身**…他からの動作を受ける。（名前を呼ばれる。）
「〜に…される」という意味を表す。

・**可能**……そうすることができる。（早く起きられる。）
「〜することができる」と言い換えられる。

・**尊敬**……動作主への敬意を表す。（先生が話される。）
接続する動詞が、尊敬の対象となる人物の動作である。

・**自発**……自然とその状態になる。（故郷のことが思い出される。）
「自然と」を補える。前に心情を表す語があることが多い。

直前の動詞が五段・サ変の未然形なら「れる」。　書か れる。
上一段・下一段・カ変の未然形なら「られる」。　見 られる。

●せる・させる

・**使役**（しえき）…他に何かをさせる。　（本を読ませる。）

直前の動詞が五段・サ変の未然形なら「せる」。　書か せる。
上一段・下一段・カ変の未然形なら「させる」。　見 させる。

※「見せる」「着せる」などは一語の動詞で、助動詞「せる」ではないので注意。

●ない・ぬ（ん）

・**打ち消し（否定）**…動作や物事を打ち消す。
（走らない。）（わかりません。）

※「ない」の識別

・**打ち消しの助動詞**…「ぬ（ん）」に言い換えられる。
（例）見ない（助動詞）　→　見ぬ（見ん）○
「いない」「しない」の「ない」も助動詞である。
直前の単語が動詞であることでも見分けられる。

・**形容詞**…「ぬ（ん）」に言い換えられない。
（例）水がない（形容詞）　→　水がぬ×
暑くない（補助形容詞）　→　暑くぬ×
「〜て（で）ない」や「形容詞（形容動詞）＋ない」の形なら補助形容詞。

・**形容詞の一部**
（例）危ない　→　「危ない」で一つの形容詞。
ほかに「少ない・きたない」など。

確認テスト

(1) 次の――線部の意味を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① あの方も出席される。

② 春の陽気が感じられる。

③ 弟が母にしかられる。

④ 私は何でも食べられる。

ア 受け身　**イ** 可能　**ウ** 尊敬　**エ** 自発

(2) 次の――線部に、助動詞「れる・られる」を付けた形をそれぞれ答えなさい。

① 今日は来る。

② 本を渡す。

(3) 次の――線部に、助動詞「せる・させる」を付けた形をそれぞれ答えなさい。

① お使いに行く。

② 礼服を着る。

(4) 次の中から、――線部が助動詞であるものを三つ選びなさい。

ア 書くものがない。　**イ** 何も知らない。

ウ そんなことはできない。　**エ** 部屋がきたない。

オ 外はまだ明るくない。　**カ** どこにもいない。